

高齢者住まい看取り研修とは？

看取りを経験したことがない介護職は、看取りに対して「得体のしれない不安感・恐怖感」を抱えていることが多いです。

VRで疑似体験し、ディスカッションする中で、「死に向き合う覚悟」を獲得していきます。

本研修は、参加した介護職が現場に戻ってからケアチームの中で主体的に動くための具体的施策を習得し、0 から 1 へ歩を進めるための内発的モチベーションを喚起します。

体験者の声

以前の意識とは全く変わりました。看取りは正直不安で仕方なかったです。夜勤帯の中どうしようなど必ず不安がつきものでした。利用者様の立場になり、本質的に考えるという看取りについてはその発想すら無かったように思います。家族様、利用者様との触れ合いや日常の関わりの中で、利用者様の“本音”といった部分を聞き逃すこと無く、介護職として耳を傾けたい。

(介護職／30代)

当事業所でも3名程看取りを行いました。経験が少なく慌てる事も多くありました。研修を受けて、段取り、取り組みの明確なビジョンも見えました。是非取り入れたいです。

(介護リーダー／40代)

看取りについて、今まで知識が無かったが、今日の研修を通して何が出来るのか知る事が出来た。利用者様の意志をしっかり汲み取ったり、家族の方々と少しでも情報や思いを傾聴していったりするように取り組んで行きたい

(介護職／20代)

介護職が主体となり、カンファレンスや看取るまでの過程を指導していくことが出来たら良いと思いました。

(看護職／30代)

健康である時からのリビングウィルの話し合いをすすめます。

(医師)

視聴するVRコンテンツ



看取り期における医療の意味／
老いのプロセス／ACPの重要性
について知る



ドキュメンタリー



ACP



ご家族との関わり

開催イメージ

